

食中毒対策に！ HACCPに沿った 衛生管理の実現に！

食品添加物(殺菌料)対応

電解次亜水生成装置「ビーコロン」

B.CROON

CL-S60B

CL-S100

MS1000
システム

電解水で
お手軽殺菌

MIURA DENSHI CO.,LTD

ビーコロン水(電解次亜水)とは

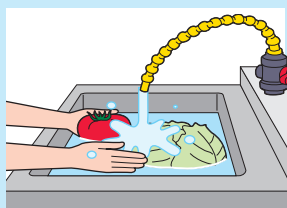
薄い塩水を電気分解して作られる次亜塩素酸を含んだ弱アルカリ性の殺菌性電解水です。(一般名称:電解次亜水)

ビーコロン水での殺菌は、低塩素濃度&流水使用(かけ流し)が基本です。蛇口をひねるだけで常に新鮮なビーコロン水が供給されるので、低濃度でも優れた殺菌効果を発揮します。

ビーコロン水は食品添加物(殺菌料)である次亜塩素酸ナトリウムの希釈液と同等性が認められ、食材の殺菌や調理器具の除菌を始め、感染症対策を含む施設の衛生管理などにも広く使用されています。

食中毒対策と厨房の衛生管理

■ 食材・食品の洗浄・殺菌



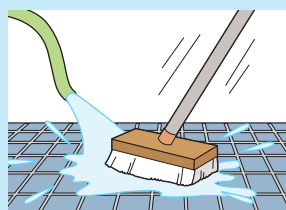
■ 調理器具類の洗浄・除菌



■ ふきん・おしぼりの洗浄・除菌



■ 床・壁の洗浄・除菌



簡単操作で希釈作業&濃度調整不要

蛇口をひねるだけの簡単操作。面倒な希釈作業やわずらわしい濃度調整はいりません。

低ランニングコスト

原料は水と塩。生成コストは1リットル当たりわずか0.25円です。(CL-S60B、有効塩素濃度50ppmの時)

※算出基準 水道料金:200円/㎡、電気料金:31円/kwh、塩代:570円/5kg

人や環境にやさしい

塩素臭が少なく、使用後は分解も早いので安全性、環境性に優れています。厨房の嫌な臭いを和らげる効果もあります。

食材へのダメージが少ない

低濃度&弱アルカリ性。しかも殺菌やすすぎの時間が短いので食材へのダメージが少なくてすみます。

※注意1:ビーコロン水は金属を錆びさせる性質がありますので、使用後は十分に水洗いをしてください。

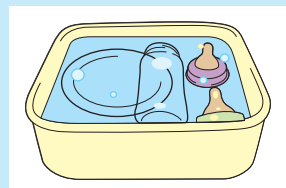
注意2:肌の敏感な人は手荒れする場合がありますので、手袋を着用するか、ハンドクリームなどで手荒れを予防してください。

感染症対策と施設内の衛生管理

■ ドアノブ・手すり・便座などの除菌



■ 食器などの浸漬除菌



※使用濃度:200ppm

食を中心とした様々な現場で活躍

◎=最適 ○=適

	 保育所	 介護・福祉	 飲食・惣菜弁当	 社食・学食	 病院	 学校給食	 スーパー・セントラルキッチン	 食品工場	 感染症対策
CL-S60B	◎	◎	◎	◎	○	○	○		◎
CL-S100	○	○	◎	◎	○	○	○	○	
MS1000システム					◎	◎	◎	◎	◎

※ビーコロン水を感染症対策として使用する場合:国の感染症対策ガイドラインなどで有効とされる次亜塩素酸ナトリウムの使用基準(消毒対象や濃度等)に則してご使用ください。

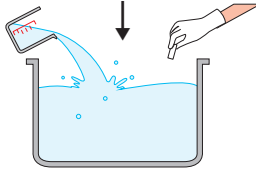
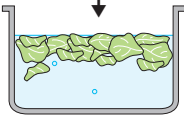
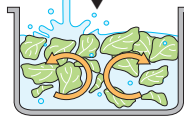
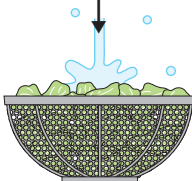
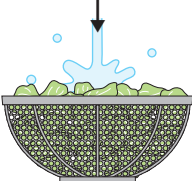
ビーコロン導入のメリット

殺菌作業の効率化、衛生管理レベルの向上

作業時間の短縮と水道代の削減

ビーコロン水による殺菌工程(流水使用)の特長は「殺菌時間、すすぎ時間」が短いことです。高濃度の次亜塩素酸ナトリウム溶液を希釈して使用する従来の殺菌工程(浸漬使用が基本)に比べ、作業時間が短く、使用水量も少なくなります。

【殺菌工程の比較】

従来の殺菌工程(200ppm)	ビーコロン導入時
予備洗浄(汚れ落とし)は同じ	
 シンクに水をためる。 水量50L 所要5分	 シンクにビーコロン水をためる。 水量50L 所要8分
 高濃度次亜添加(希釈) 水量0 所要1分	添加不要
 食材を入れる。(浸漬殺菌) 水量0 所要5分	 食材を入れる。(ビーコロン水を流しながら殺菌) 水量18L 所要3分
 水を流しながらすすぐ。 水量100L 所要10分	 水を流しながらすすぐ。 水量14L 所要2分
合計 水量150L 合計 所要時間21分	合計 水量82L 合計 所要時間13分

※「ビーコロン導入時」の所要時間はCL-S60Bを使用した場合です。

二次汚染防止に威力を発揮

食中毒の原因の多くは二次汚染によるものです。

高濃度の次亜塩素酸ナトリウム溶液を希釈して浸漬使用する従来の除菌方法では作業しながら衛生管理を行うことは極めて難しいのが現状です。「二次汚染」を防ぐためには、作業中でもまな板や包丁などの調理器具をこまめに洗浄・除菌することが必要です。

調理器具を介した食品の二次汚染



※洗浄が不十分な調理器具を介して菌はどんどん広がっていく

ビーコロン水を利用した二次汚染対策

汚染が想定される原材料を取り扱う場合には、その都度、使用したまな板や包丁などを中性洗剤で洗浄した後、ビーコロン水(電解水)で洗浄・除菌します。蛇口からすぐにビーコロン水が生成され、水道水感覚でこまめに除菌できるので二次汚染対策には極めて有効です。



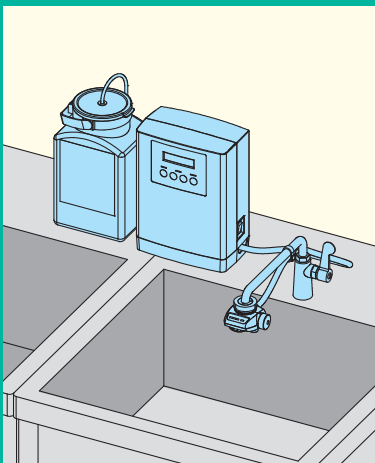
食の安全

CL-S60B

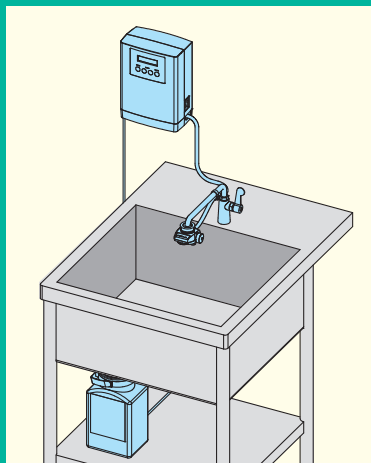


【設置例】

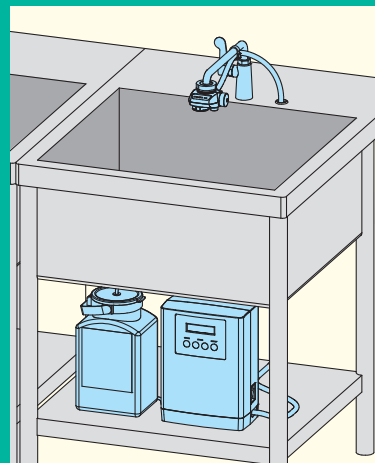
卓上(据え置き)



壁掛け



アンダーシンク



ビーコロン水
専用水栓



既存の水栓



連結ホースを通す
穴の例

※お湯の使用も含め、飲用や調理用を使用する水栓とは別にビーコロン水専用水栓(蛇口)を設けてご使用ください。

※シンク下に装置本体を設置する場合は、ビーコロン水専用水栓(固定位置)から60mm程度の位置に連結ホースを通す穴(φ18以上、電源コードも通す場合はφ28以上)を開けると便利です。また、ホース損傷防止のため、シンク貫通部分にグロメットなどの保護具を取付けてください。

全と環境に配慮した衛生管

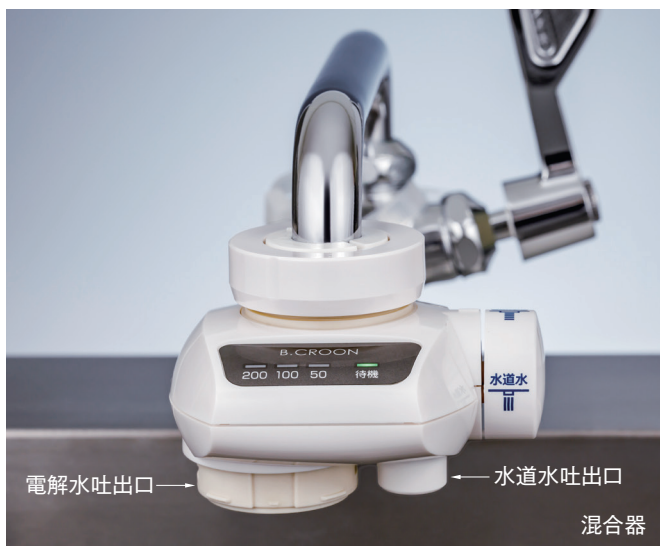
原料は水と塩なのでとっても安心！使いやすさ

かんたん設置

水道蛇口に混合器を取付けるだけ。面倒な配管工事もしりません。蛇口取付型浄水器と同じ感覚で取付けできます。

手元で濃度調整

蛇口をひねって吐出量を変えると塩素濃度が変わります。調整できる塩素濃度は50 / 100 / 200ppmです。濃度ランプを確認しながら作業できるのでとっても安心です。



※「電解水」はシャワー・ストレート対応、「水道水」はストレートのみ

小型&軽量

装置本体はコンパクト&2.7kgの軽量設計。だから狭い厨房でもラクラク設置。

ダイヤル操作で電解水と水道水を切替

混合器のダイヤル操作で電解水(ビーコロン水)と水道水を切替できます。「水道水で汚れを落とし」、「電解水で殺菌・除菌」、「水道水ですすぐ」といった一連の作業をひとつの蛇口で効率的に行うことができます。

※水道水の使用は電解水使用前後の汚れ落としやすすぎなどに限定し、お湯の使用も含め、飲用や調理用には使用しないでください。(誤飲防止)

メニュー操作で快適設定

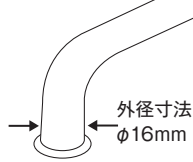
メニュー操作で、運転時間の確認はもとより、ブザー音量を変更(大・小・なし)したり、水質に見合ったクエン酸洗浄サイクル時間を設定することができます。

特徴 小規模厨房に最適

生成量	360リットル/時間(50ppm時)
注出蛇口数(目安)	1箇所
貯水システム対応機能	なし
塩1kgでの生成量	約3.3トン(50ppm時)

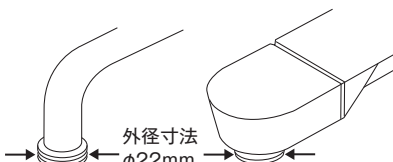
【取付け可能な蛇口と適合アダプタ】

通常タイプ (推奨の蛇口)



泡沫外ネジタイプ

※この図は先端の金具を外した状態です。



ワンタッチリング



外ネジアダプタ



【注意】混合水栓、給湯水栓には取付けないでください。40℃以上のお湯を使用すると、混合器内部の部品が劣化します。



理の実現に、ビーコロン水が

で、日々の衛生管理をしっかりサポートします。

CL-S100



充実した生成能力

生成量を毎分3ℓ (約110ppm)～10ℓ (約30ppm)に調整可能です。
1台で1～3箇所の水栓バルブに供給可能。

貯水システム対応機能

一度に大量のビーコロン水を使いたい、複数蛇口でジャブジャブ使いたい場合、一旦、ビーコロン水をタンクにためて、複数蛇口にポンプ送水するシステムがお奨めです。CL-S100には貯水分配方式を可能とする機能が標準装備されています。

【導入事例】CL-S100貯水システム



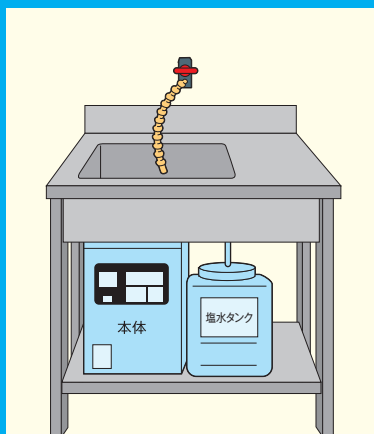
貯水分配システムにすることでストレスのない供給量が確保できます。

特徴 中規模厨房に最適

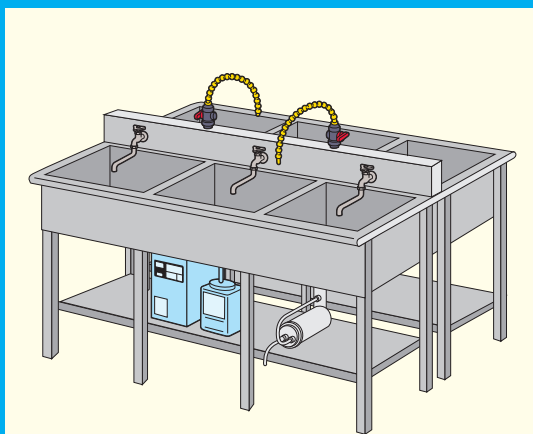
生成量	600リットル/時間(30ppm時)
注出蛇口数(目安)	1～3箇所(ダイレクトの場合)
貯水システム対応機能	標準装備
塩1kgでの生成量	約1.5トン(50ppm時)

【設置例】

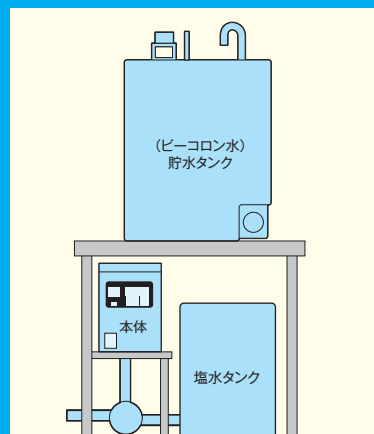
ダイレクト(1箇所)



ダイレクト(2箇所)



貯水システム例



効果的！

MS1000 システム



大量調理施設に最適。
厨房全体の衛生管理に
活躍します。



豊富な供給量

最大で毎分30リットルの供給量。複数の蛇口に分配して使用できます。

原水を選ばない

水道配管に高濃度のピーコロン水を直接注入する方式なので、
飲用適の井戸水も利用できます。

有効塩素濃度の切り替えが可能

50 / 100 / 200ppmの3種類の濃度が選べます。

特徴 大規模厨房に最適

生成量	1.8トン／時間(50ppm時)
注出蛇口数(目安)	1～10箇所
貯水システム対応機能	標準装備
塩1kgでの生成量	約2.7トン(50ppm時)

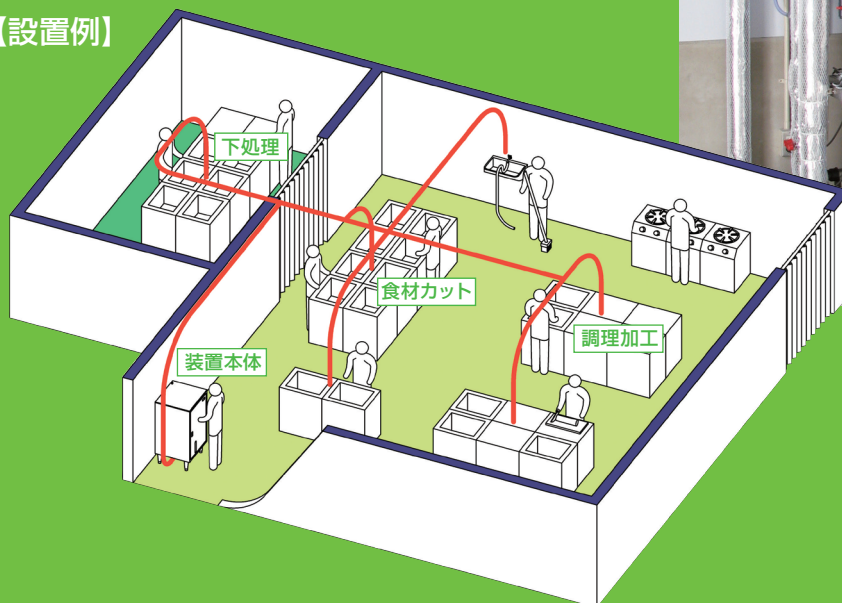
【導入事例】CL-MS1000貯水システム



MS1000システムから供給される水量や濃度では賄いきれない現場(食品工場や水産加工場など)には、MS1000システム内の生成装置本体(CL-MS1000)をベースとした大容量の貯水供給システムをご提案できますので、お気軽にご相談ください。

※受注生産品

【設置例】



■仕様

CL-S60B

CL-S100

MS1000システム

型式		CL-S60B	CL-S100	MS1000システム
電 解 方 式		無隔膜電解方式	無隔膜電解方式	無隔膜電解方式
電 源		AC100(V) 50/60(Hz)	AC100(V) 50/60(Hz)	AC100(V) 50/60(Hz)
定 格 消 費 電 力		130(W)	114(W) (最大140W)	900(W)
外 形 寸 法 重	本 体	寸法:幅202×奥行128 ×高さ275(mm) 重量:約2.7kg	寸法:幅200×奥行395 ×高さ350(mm) 重量:約9kg	寸法:幅650×奥行600 ×高さ1200(mm) 重量:約100kg
	塩 水 タ ン ク	寸法:幅162×奥行130 ×高さ267(mm) 重量:約0.33kg 容量:3.5ℓ	寸法:幅160×奥行160 ×高さ250(mm) 重量:約0.5kg 容量:4ℓ	—
	混 合 器	寸法:幅88×奥行87 ×高さ63(mm)	—	—
	水 質	上水水質基準適合の水	上水水質基準適合の水	上水水質基準適合の水
給 水	水 圧	0.2~0.5(MPa)	0.1~0.7(MPa)	電解用: 0.1~0.34(MPa) 現場配管用: 0.2~0.7(MPa)
	水 量	10(ℓ/分)以上	—	電解用: 10(ℓ/分)以上 現場配管用: 40(ℓ/分)以上
	水 温	5~30℃	5~30℃	5~30℃
	p H	7.5以上	7.5以上	7.5以上
ビーコロン水	有効塩素濃度	50/100/200ppm	30~110ppm	50/100/200ppm
	生 成 量	6/3/1.5ℓ/分	10~3ℓ/分	30/15/7.5ℓ/分
周 囲 温 度		5~35℃	5~35℃	3~35℃
洗 浄 方 法		クエン酸洗浄	—	—
添 加 剤		塩化ナトリウム99.0%以上の 「25kg入り精製塩」または 「食塩」	塩化ナトリウム99.5%以上の「25kg入り精製塩」	—
設 置 環 境		換気装置があること	換気装置があること	換気装置があること
混 合 器 連 結 ホ ー ス		1.6m	—	—
塩 水 ホ ー ス		1.9m	—	—
電 源 コ ー ド		2.0m	—	—
給 水 口		—	—	電解用原水: 16A(HI-VP) 現場供給用原水: 20A(HI-VP)
吐 水 口		—	—	ビーコロン水: 20A(HI-VP)
排 水 口		—	—	16A(HI-VP)

- 保証期間…………… 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
- 主要定期交換部品 本体部品の一部は定期交換部品です。一定期間使用后、交換が必要となります。但し、この部品はお買い上げ後1年間の保証修理対象外です。

交換時期の目安			
部品名	CL-S60B	CL-S100	MS1000システム
電解槽	1,000時間	4,000時間	5,000時間
塩水ポンプ	1,000時間	2,000時間	3,000時間

※所定の交換時期に達していない場合でも、3年経過を目安に交換することをおすすめします。
※原水の水質、使用頻度、使用環境、使用状態などによって交換時期が早まる場合があります。

⚠ 安全にご使用いただくために

- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ビーコロン水は食品添加物である次亜塩素酸ナトリウム（殺菌料）の希釈液と同等とみなして取扱ができます。
- 本装置は医療機器ではありません。
- ビーコロン水は飲用ではありません。
- 凍結の恐れのある場所には取付けないでください。
- 本製品の仕様やデザインは改善等のため、予告なく変更する場合があります。
- 本製品の色は印刷物ですので、実際の色と若干異なる場合があります。

【お問い合わせ・ご注文】

三浦電子株式会社 機能水事業部

本 社 〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字堺田16-4
TEL 0184-36-2772 FAX 0184-36-2776
E-mail: voice@miura-denshi.co.jp

東京営業所 〒104-0042 東京都中央区入船3-9-1 第2細矢ビル3F
TEL 03-6228-3942 FAX 03-6228-3947

【製造元】

三浦電子株式会社 機能水事業部

本 社 〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字堺田16-4
TEL 0184-36-2772 FAX 0184-36-2776
E-mail: voice@miura-denshi.co.jp

東京営業所 〒104-0042 東京都中央区入船3-9-1 第2細矢ビル3F
TEL 03-6228-3942 FAX 03-6228-3947

http://www.miura-denshi.co.jp/